

お金や物を大切に生活

～日常の経験を振り返ってみよう～

(授業時数:1時間)

実施学年、教科など

第4学年 道徳 主題「節度ある生活」

単元(題材)の目標

資料「友だちのしょうこ」をもとに、母親が筆箱を買うことを許さなかった理由や父親の小さい頃の話聞いた時の気持ちを考えるを通して、物を大切にしようという心情を育てる。

学習の評価

- ①これまでの経験をもとに学習の目当てをつかむことができたか。
- ②主人公まゆみの気持ちを心情カードで表し、その気持ちを自分の気持ちとして考えることができたか。
- ③物を大切にすることについて、自分の行動を振り返って考えたり、できていなかったことを具体的に振り返ることができたか。

展開の特色

①こんな経験をもとに

本時の主題のもとになっている経験は、以下のようなものである。

- ・鉛筆や消しゴムなどの文房具を最後まで使わない。
- ・習字の時間に、少し間違えただけで半紙を取り替える。
- ・学級で落とした物があっても、誰も取りに来ないことが多い。
- ・まだ使えるのに新しい物を家の人にねだる。 など

子どもたちは「もったいないことをした」という自覚はあり、物を大切にしないといけないと感じているものの、落とし物が見つかるまで探さなかったり、見つからなくても気にとめなかったりする姿や、新しい物を買って求めたり友だちと同じ流行の物を求めたりする姿が見られる。保護者に回答してもらったアンケートからも同じような実態が見られた。

このような実態を踏まえて、本主題において節度ある生活態度について考え、自分のこれまでの生活の仕方を振り返らせ、物を大切に、節度や節制に心がけ自分自身の生活をより良くしていこうとする気持ちを育てていきたい。

②こんな指導方法を通して

主人公まゆみの心情の変化を心情カードを通して明らかにすることで、物を大切に使うことの道徳的価値を理解することができるようにする。また、資料「友だちのしょうこ」を共感的に活用し、自分の経験をまゆみと重ね合わせて、自分のこれまでの行動と、これから大切にしていこうという心について考えさせたい。

入門ガイド

小学校における入門ガイド

中学校(社会)における入門ガイド

中学校(技術・家庭)における入門ガイド

実践事例

幼稚園における実践事例

小学校における4学年実践事例

中学校における実践事例

高等学校における実践事例

資料

年間指導計画の例

資料

本時の展開

導入(10分)

展開(30分)

まとめ(5分)

学習内容	学習活動
<ul style="list-style-type: none"> 本時学習の目当てをつかむ。 物を買う時や使う時にどんな心が大切か考えよう。 	<ul style="list-style-type: none"> ○これまで、物を大切にできなかった経験を話し合う。 ○その時に、なぜ無駄遣いをしてしまったのか考える。
<ul style="list-style-type: none"> 資料「友だちのしょうこ」の主人公まゆみの気持ちを考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○友だちから筆箱をそろえようと言われた時の主人公の気持ちを考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・筆箱を買って友だちの証拠にしたい。 ・買ったばかりだから叱られるかな。 ○お母さんに叱られた時の気持ちを考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・お母さんは私の気持ちを分かっていない。 ・おばあちゃんが買ってくれるんだからいいじゃない。 ○お父さんの話を聞いた時の気持ちを考える。 <ul style="list-style-type: none"> ・新しい筆箱が本当に必要なのかなあ。 ・お母さんが言っていたことが分かる。 ・持っている筆箱はまだ使える。 ○次の日の返事を書く。 <ul style="list-style-type: none"> ・今の筆箱がまだ使えるから新しく買うことはできないよ。
<ul style="list-style-type: none"> 物を買う時や使う時に大切な心を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ○これからの生活の中で大切にしていきたいことを考える。 ○教師の説話を聞き、価値を深める。 <ul style="list-style-type: none"> ・「入学式の洋服」

【本時の目標】

資料「友だちのしょうこ」をもとに、母親が筆箱を買うことを許さなかった理由や父親の小さい頃の話聞いた時の気持ちを考えることを通して、物を大切にしようという心情を育てる。

ア これまでの経験をもとに学習の目当てをつかむことができる。

イ 主人公まゆみの気持ちを心情カードで表し、その気持ちを自分の気持ちとして考えることができる。

ウ 物を大切にするということについて、自分の行動を振り返って考えたり、できていなかったことを具体的に振り返ることができる。

金融教育の視点	指導上の留意点	その他(資料など)
<ul style="list-style-type: none"> ◇物の無駄遣いの経験から、主題に迫る。 <ul style="list-style-type: none"> ・鉛筆や消しゴムを最後まで使わない。 ・消すのがめんどうで紙を捨てた。 ・ふざけて鉛筆を折ったりした。 	<ul style="list-style-type: none"> ☆事前にとったアンケートの結果を提示して考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前アンケート
<ul style="list-style-type: none"> ◇物を大事に使うことの大切さに気づく。 <ul style="list-style-type: none"> ・使い続けてきた物への愛着 ・くれた人への感謝 ・買う時に考えること(本当に必要な物なのか) 	<ul style="list-style-type: none"> ☆資料を読み、迷っているまゆみの心の葛藤に共感させる。 ☆心情カードを使って、まゆみの中の心の変化を捉えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「友だちのしょうこ」 資料 No.1 (→P.73) ・「心情カード」(児童が書いた道徳学習プリント) 資料 No.2 (→P.74)
<ul style="list-style-type: none"> ◇物を買う時や使う時の大切な心に気づく。 <ul style="list-style-type: none"> ・必要な物かどうかをしっかりと考える心 ・物を大切に使い続ける心 	<ul style="list-style-type: none"> ☆教師の話聞くことで、これからの生活の中での実践意欲を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師の説話

実践の記録

1. 物を大切にできなかった経験を話し合い、本時学習の方向をつかむ。

児童の反応

- ・鉛筆や消しゴムなどを最後まで使わない。
- ・習字の時間、少し間違えただけで半紙を取り替えた。
- ・消しゴムで消すのがめんどろで、紙を捨てた。

【めあて】物を買う時や使う時にはどんな心が大切か考えよう。

2. 資料「友だちのしょうこ」を読み、物を大事に使うことの大切さを感じる主人公まゆみの心情の変化を明らかにする。

児童の反応

- ・筆箱を買っておそろいにしたい。
 - ・絶対に買おう。
 - ・友だちのしるしに買いたい。
-
- ・筆箱は、今持っている筆箱でいいなあ。
 - ・筆箱は買わなくても、今の筆箱がまだ使える。
 - ・筆箱が同じでなくても、友だちには変わらない。

3. これまでの自分の姿を振り返り、これからの生活の中で大切にしていきたいことを考える。

児童の反応

- ・前は、消しゴムをまだ十分使えるのに捨ててしまったりしていたから、これからは消しゴムや持ち物を大切にしたいです。
- ・ぼくは、色紙を失敗したからといってすぐ捨ててしまったことがありました。この学習でただ1まいの色紙でも小さい物でも、物を大切にしないといけないことがわかりました。

4. 教師の説話を聞き、価値を深める。

児童の反応

- ・新しい物ばかり買わなくて、一つの物を大事にすることが大切だとわかりました。これからもっと物を大切にしようと思います。
- ・わたしは今日の学習をして、買いたい物が本当に必要かを考えて買うことを学びました。

この資料は、物を大切にしないといけないとは分かっているものの、日常生活の中で、落とし物を見つけるまで探さなかったり見つからなくても気にとめなかったりする児童の実態や、常に新しい物を求めたり友だちと同じ流行の物を求めたりする児童の実態に通じるものである。主人公に共感する児童が大半を占めている。そこで、資料を共感的に活用しながら、これまでの自分と重ね合わせてじっくり考えるように促した。

教材・資料など



友だちのしょうこ

まゆとさち子は、新しく駅前でできた文房具やさんにでかけました。そこには、今までに見たことのないすてきな商品が、たくさんならんでいました。

「ねえ、まゆみさん、見て。すごくかわいい筆箱。わたし、これ買うわねえ、まゆみさんも、この筆箱をいっしょに買って、おそろいにしましょうよ。そうよ、友だちのしょうことして。ね、いいでしょう？」

「そうだね。そういうのって、すてきね。家に帰って、お母さんに話してみるわ。」

ふたりはお店を出て、家に帰りました。

「おばあちゃん、おねがいがあるの。筆箱を買ってほしいの。」

まゆみは、筆箱がほしくてたまらない気持ちを、一生けんめい話しました。

「かわいいまゆみちゃんが、そんなにほしいのなら、買ってあげるよ。」

「やったあ、おばあちゃんは、やっぱり話がわかる。ありがとう、大好き！」

するとそこへ、お母さんが、こわい顔をして入ってきました。まゆみが、大きな声で話すものだから、台所にいたお母さんにも聞こえたのです。

「まゆみ、この前、新しい筆箱を買ったばかりじゃないの。よく考えなさい。」

「お母さんには関係ないでしょう。」

まゆみは、じぶんのへやのドアを、バタンとしました。

(お母さんは、わたしの気持ちなんて、ちっともわかってくれないんだから。あの筆箱は、友だちのしょうこなんだから。)

そんなことを考えていたら、いつの間にか、ベットでねむってしまいました。しばらくして、お父さんがへやに入ってきて、しずかに話しました。

「お父さんも子どものころ、お前と同じようなことがあったんだよ。友だちが、新しい野球のグローブを買ってね。そうしたら、その友だちがすぐくうまくて、かっこよく見えたんだ。それで、おばあちゃんに、『新しいグローブがほしい。』って、たのんだんだよ。でもね、おばあちゃん、『持っているのが使えなくなったわけじゃないから、だめ。』っていうんだ。もう、くやしくて、今のまゆみのように、ふかれてねむってしまったんだよ。次の日、朝起きてみると、つくえの上のびかびかにみがかれたグローブがおいてあったんだ。きつと夜おそくまで、一生けんめいみがいてくれたんだろうね。それを見たら、新しいグローブなんていらなそう思ったんだよ。」

お父さんはそれだけ話すと、へやを出ていきました。

(お父さんもわたしと同じことがあったんだ。あのやさしいおばあちゃん、しんじられないな。ほんとうにあの筆箱が、ひつようなんだろうか?)

その次の朝、まゆみは、学校へ急ぎました。

(出所) 学研「みんなのどうとく」



資料 No.2

「心情カード」(児童が書いた道徳学習プリント)

友だちのしょうご

年 組 名 前) (

●めあて

ものを買うときや使うときにはどんな心が大切なのか考えよう

1 お母さんに「よく考えなさい」としかられた時のまゆみの気持ちを考えよう。

何でダメなんだろう。さち子さんとおそろいの筆箱だったら、さち子さんとのなかがもっとよくなれるのになあ。お母さんは、なぜ反対するのだろう。

2 お父さんの子どものころの話聞いて、まゆみはどんなことを考えたでしょうか。

お父さんもわたしみたいなときがあったんだ。あんなにやさしいおばあちゃんなお父さんがほしかったグローブを買ってあげなかったなんて。でも、本当に筆箱っているのかなあ。よしくめた。いつもの筆箱で学校に行こう。さち子ちゃんには、ちよつと悪いけど、さち子ちゃんなら分かってくれるだろう。

さち子への返事

ごめんなさい。筆箱は買えない。だってお母さんから買ってもらった筆箱があるから。

3 これからの生活で『大切にしていきたいこと』について書いて。

ぼくは、今まで、ものを、いるものとかいらぬものとか考えないで買っていたので、これからは、いるものかいらぬものかを見わけて買いたいです。学習したことを生活にかかしていききたいです。

入門ガイド

小学校における入門ガイド

中学校(社会)における入門ガイド

中学校技術家庭における入門ガイド

実践事例

幼稚園における実践事例

小学校における4年実践事例

中学校における実践事例

高等学校における実践事例

資料

金融教育に関する年間指導計画の例

資料